

アクラス研修会(1月-①)

**「現場での評価を
どう考えればいいのか？
～さまざまな現場における評価～」**

伊東祐郎(東京外国語大学)

2013.1.11

アウトライン

- 日本語教育の多様性
- 日本語教育の目的
- 日本語教育のコースデザインとカリキュラム
- 外国語教育を取り巻く最近の動向
- 日本語能力観の変化
- 評価の実際
- 新たな評価のあり方とこれからの日本語教育

コースデザイン(1/2)

- プログラムの目標設定＝教育のゴール設定
- 目標の達成度を知る＝どのように知るか
- 評価方法を決定する必要がある
- 目標(ゴール)設定によって評価方法も決まってくる

コースデザイン(2/2)

- 教育目標の設定は、評価方法を決定するためだけではない
- 目標達成のための有効で有意義な授業の条件を知るためにも必要
- 教育目標がどのタイプの学習成果を目指すものであるかを熟知しておく必要がある
- 教授項目の偏りを防ぎ、バランスある授業が設計できる

目標をどのように設定するか

- 学習者の「行動」に基づいて目標を設定する
（＝何を学んでほしいのか）
- 教育目標を「明確化」する
- 学習者の「（目標）行動」が評価できる条件を記述しておく
- 目標が達成されたかどうかを判断する基準を記述しておく

目標設定のための枠作り

- コース本来の教育目標
 - 学習者(ニーズ)中心
 - 到達目標(ゴール)中心
- 教育目標の設計
 - 学習者、教師双方の内省・意見交換など
 - 職務分析、在外基準参照、観察など

目標設定のまとめ

- (1) 目標行動を選ぶ
- (2) 目標行動を明確に記述する
- (3) 目標行動を評価するための条件・要件を記述する
- (4) 目標行動の達成度を知る(評価する)ための基準を記述する

言語テストの対象領域

- 言語領域(知識)
 - ①文法
 - ②語彙(意味・語形)
 - ③文字
- 言語技能(運用力)
 - ①聴解力
 - ②読解力
 - ③口頭表現力
 - ④文章表現力

言語テストの条件

- 信頼性(reliability)：一貫性、安定性
- 妥当性(validity)：測定目標の達成度
反映度
- 実用性(practicality)：実施・採点の簡便性・
有用性

言語テストの目的

- 診断的評価
指導開始前のクラス配置(プレイスメント)
→指導内容の決定
- 形成的評価
学習過程における達成度と問題点の把握
→指導の改善・見直し
- 総括的評価
プログラムの成果と目標達成度の把握
→修了・進級・進学の評定

テスト作成の実際 ＝何を出題しているか

- (1) 授業で教授した「文法」「文字」「語彙」などの言語知識、および「聴解」「読解」「スピーキング」「作文」などの運用力
- (2) 日本語能力試験や日本留学試験で問われている言語知識や運用能力



テストの波及効果 (washback)

日本語(言語)テストの課題

- 出題内容が知識面に偏りがち
- 出題内容が教育目標や行動目標と必ずしも結びついていない
- 得点そのものが教育管理上の数値として扱われ、それ以上の意味をもたない

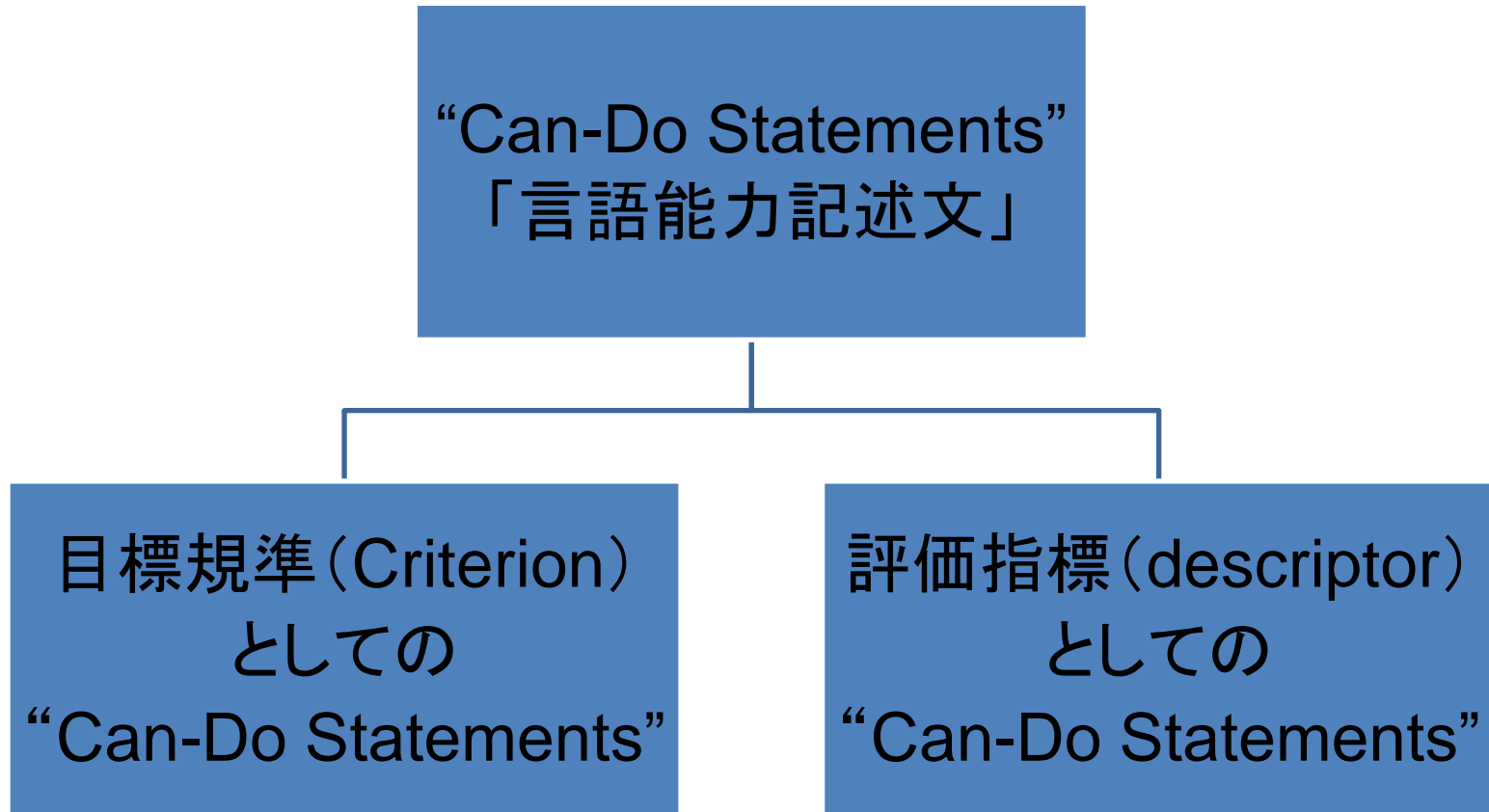


言語運用能力の可視化・具体化・記述化



<教育目標の可視化・具体化・記述化>

“Can-Do Statements”とは？



**Can-Do
Statements**

授業・指導

教材・教具

測定・評価

評価における最近の動向

- 行動主義／心理測定アプローチ
 - 信頼性を優先するために、妥当性を犠牲？
 - 知識面の測定に偏りがち？
- 社会／文化アプローチ
 - 学習を個人的なものとして捉える
 - 学習を他者との相互関係として捉える
 - 学習を社会的なものとして捉える



代替アセスメント (alternative assessment)

代替アセスメント

(alternative assessment)

- ジャーナル: 学習者の思考過程や行動に注目するために、内省を中心としている。
- ポートフォリオ: 言語活動を成果物化し、学習の発達段階や達成度を実感させている。
- ピアアセスメント: 評価は教師だけという考えから離れ、学習者視点からの学習奨励や学習促進をねらいとしている。対話、協働活動。
- 自己評価: 自己内省と自己評価を中心。

評価方法の多様化

- 代替評価＝教育的評価 (instructional assessment)
 - 学習者に長所、短所を自覚させる
 - 自律 (autonomy) の必要性を認識させる
 - 学習者自身の変化・変容・成長をねらう
 - 評価が教育を一体化する
- 評価結果の出し方：“Pass” or “Fail”

Classroom Assessment (1/2)

- Classroom Assessment is **the process of collecting information** from your students about their experience as learners in your class.
- There are **many different ways of collecting information**, depending on what you are teaching and what kind of information you need.

Classroom Assessment (2/2)

- Classroom assessment **differs from tests** and other forms of student assessment in that it is aimed **at course improvement**, rather than at assigning grades.
- The primary goal is **to better understand your students' learning** and **so to improve your teaching**.

【引用サイト】

<http://citl.indiana.edu/resources/teaching-resources1/sampleCATs.php> (2013/1/5アクセス)